

AUSMIP EU 大学への留学生の募集

AUSMIP (Architecture and Urban Student Mobility International Program) とは、日本と EU 間の建築・都市分野における修士課程学生の相互交流プログラムです。

日本側は、東京大学大学院 (工学系および新領域)、九州大学大学院、千葉大学大学院が、EU 側は、パリ・ラヴィレット建築大学 (フランス)、ルーヴァン大学 (ベルギー)、リスボン大学 (ポルトガル)、ミュンヘン工科大学 (ドイツ、今年度は対象外) が 2003 年度当初から参加してきました。EU-日本の政府間の「日本 EU 留学生交流パイロットプロジェクト」第 1 号として採択されて以来、日本から EU への派遣学生数は計 215 名、EU から日本への派遣学生数は計 160 名です。2017 年度からソフィア建築土木大学 (ブルガリア) が加わりました。2016 年には建築学会教育賞を受賞するなど、教育効果が認められた伝統のある留学プログラムです。学術交流協定に基づく受入れ・派遣体制が整備され、休学を要しない留学が可能で、単位認定のしくみが整っています。

2024 年度の募集について、下記のとおり告知いたします。

記

募集学生数：

全体で 20 名 (5 名×EU4 大学) を目安とする。新領域からは 5 名程度を予定。

- * 原則として学部等で建築設計、都市設計、都市景観設計、造園設計のいずれかを修めていることが望ましい。ただし、各大学で性格が異なるので、担当教員である岡部と個別に相談のこと。

留学先：

パリ・ラヴィレット建築大学(Ecole d'Architecture de Paris - La Villette)

リスボン大学建築学部 (Faculdade de Arquitectura, Universidade de Lisboa)

ルーヴァン大学建築学部シントルーカス校 (The University of Leuven, Faculty of Architecture, Campus Sint Lukas)

ソフィア建築土木大学 (The University of Architecture, Civil Engineering & Geodesy, Sofia)

- * 奨学金などについて関心のある場合、個人で受給できるものを各自検討してください。パリ・ラヴィレットについては、先方大学の経済支援の可能性がります。

留学期間：

2024 年度 A1 から 9 ヶ月間を基本とする (この期間は休学とはならない。留学中の留学先での履修成果は本専攻の同等の科目の単位として認定される)。

応募方法・期日：

学籍番号、氏名、所属専攻名、研究室、連絡先住所、電話、メールアドレス、研究テーマ、これまでに修得した外国語、希望校 (希望順)、留学目的を、A4 版 1 枚にまとめて、岡部 (新領域プログラム担当教員) 宛、**4 月 10 日 (水) 正午まで**に送付のこと。ただし、事前に指導教員の承諾を得ること。他専攻で関心のある人は、岡部まで連絡ください。

担当：

プログラム全体 権藤 智之 (東大・工学系) gondo@arch1.t.u-tokyo.ac.jp

新領域 岡部明子 aokab@k.u-tokyo.ac.jp

AUSMIPは大学院修士課程の学生を対象としており、留学期間は通常 10 月から6月の9カ月である。基本的に修士 1 年生を対象としており、単位認定制度の導入により休学せずに留学できるため、修士課程 2 年間（留学期間含む）で修了することが可能である。ただし、就職活動や修士論文執筆などのために半年あるいは 1 年間修士課程の期間を延長する学生も少なくはない。また、修士課程を 3 年間過ごすことを前提にした修士 2 年生も少数ではあるが毎年存在する。表 1 にAUSMIP生の 2 年間スケジュールの概要を示す。

表 1 AUSMIP生の2年間

4月	AUSMIPの告知・候補者選抜 (各大学で書類審査と面接実施)	東大工学系・新領域：未定	
5月	幹事校でとりまとめ、渡航先大学決定。		
6月	留学準備 渡航先大学との調整や留学手続、奨学金の申請と手続きなど。 9月中に渡航して語学を学ぶ学生も		
7月			
8月			
9月			
10月	留学期間	 日本で合同エスキス	
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
4月			
5月			
6月			 フランスで合同報告会
7月			帰国、修士論文執筆、就職活動などを行う学生と数か月留学先に残り（主に夏休み期間を利用）、建築事務所等でインターンシップをする学生に分かれる。
8月			
9月			
10月			
11月	所属大学で帰国報告会		
3月	修士課程修了		